

2022 森林科学公開講座

「木の家をまもる」

無料
要申込

日時: 2022年11月5日 (土) 14:00-16:00

開催方法: 対面 + オンラインの併用

対面会場: 京都大学宇治キャンパス木質ホール



概要

豊かな自然と四季に恵まれる一方で、高温多湿で自然災害の多い日本。木の家はどのような危険にさらされ、そしていかにしてその危険から守るのか。「木の家をまもる」をテーマとして、皆様にぜひ知っていただきたい話題を3人の教員からご提供します。

プログラム

開会の挨拶	14:00-14:05	専攻長: 杉山淳司
趣旨説明	14:05-14:10	司会進行担当・五十田博
話題1	14:10-14:45	中川貴文 「地震や火災に耐える！」
話題2	14:45-15:20	大村和香子 「腐朽や害虫から守る！」
話題3	15:20-15:55	小杉賢一郎 「土石流から守れるか？」
閉会の挨拶	15:55-16:00	副専攻長: 小杉緑子

申込サイト



10月29日 (土) までに下記リンクあるいは右QRコードよりお申し込みください。

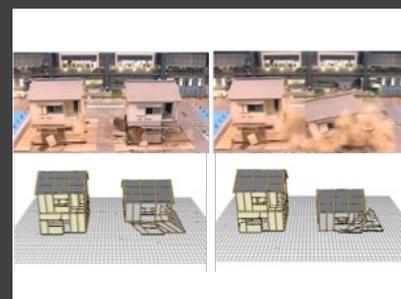
お申し込みの方に参加方法をご案内します。

<https://forms.gle/fsQRv6sMRqCYDyZk6>

地震や火災に耐える! -地震被害のない家について考える-

中川貴文 (生存圏研究所 生活圏木質構造科学分野 准教授)

我が国は古くから何度も地震被害を受けてきました。1995年兵庫県南部地震での死者は6000人を超え、多くが木造住宅の倒壊による圧死と言われています。このような歴史の中で、木造住宅の耐震性能確保のため、様々な取り組みがされてきました。講演では、木造住宅の最新の耐震研究の解説を行います。



腐朽や害虫から守る! -家を長く使うことについて考える-

大村和香子 (生存圏研究所 居住圏環境共生分野 教授)

木材は再生可能な資源として有用な材料です。しかし住宅の部材等として使っていると、知らないうちに腐朽やシロアリによる被害が生じて強度が低下してしまい、地震などの災害時に住宅が壊れてしまう危険性があります。本講座では住宅等におけるシロアリ・腐朽被害例と、これらの被害を防ぐための方策についてご紹介します。



土石流から守れるか? -土砂災害から身を守る方法について考える-

小杉賢一郎 (農学研究科森林科学専攻 山地保全学教室 教授)

最近、京都でも大雨が良く降ります。夜中にスマートフォンがけたたましく鳴って、何度も起こされてしまった経験があるのではないのでしょうか。土砂災害に関する避難情報を受け取ったとき、どう行動すればよいのでしょうか。山崩れや土石流の研究について解説し、土砂災害から身を守る方法について一緒に考えてみたいと思います。

